

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1	<p>'2015年1月中旬から下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年10月中旬から下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。</p>		<p>・村内スーパーの売上は、例年、観光客もほとんどいない冬の時期は、10月中から下旬に比べれば減少するが、前年同期との比較では例年並みである。 ・村内スキー場の来場者は、12月は例年並みであったが、1月は昨年と比べると若干落ちている状況である。</p> <p>(長野県の状況) ・緩やかに回復しつつあるものの、生産の一部に弱めの動きがみられる。</p>
デフレ脱却・経済の好循環の継続に向けた取組			
2-1	<p>「経済財政諮問会議における今後の課題について」(平成26年12月27日経済財政諮問会議 甘利経済財政政策担当大臣提出資料)をご覧ください、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p>	-	<p>平成27年度の地方財政対策において、地方創生推進に係る地方施策の充実・強化のための歳出が1兆円計上されるとともに、前年度を大幅に上回る一般財源総額が確保されたことは誠に心強い。 アベノミクス効果を地域の隅々まで行き渡らせ地方創生を実現するためには、今後とも、町村が、自主性・自立性を発揮し様々な施策を着実に実施していくことができるよう継続的に安定した自主財源の確保が不可欠である。 地方経済の再生という点では、とりわけ町村では基幹産業である農林水産業の再生が急務であり、これに向けた取組みを強化すべきと考える。 財政健全化も重要な課題であるが、地方が人口減少の克服、地方創生の推進にこれから懸命に取り組んでいこうというときに、その財政基盤を揺るがし意欲を削ぐようなことがあってはならないと考える。</p>
2-2	<p>質問2-1でご提案いただいた取組について、その背景となる具体的な事例やモデルがあればご紹介ください。</p>	-	